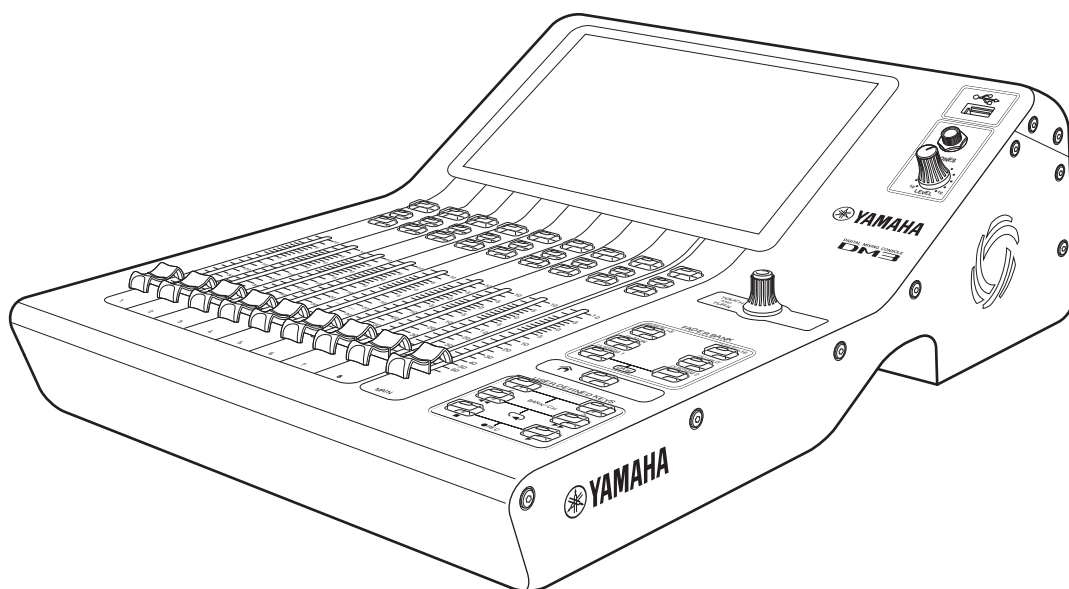






デジタルミキシングコンソール

DM3 DM3 STANDARD (DM3S)



取扱説明書

JA

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN	
CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.		

Explanation of Graphical Symbols



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product.



IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

1. Read these instructions.
2. Keep these instructions.
3. Heed all warnings.
4. Follow all instructions.
5. Do not use this apparatus near water.
6. Clean only with dry cloth.
7. Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
8. Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
9. Do not defeat the safety purpose of the polarized or groundingtype plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
10. Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
11. Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
12. Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
13. Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
14. Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



WARNING
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(0502 UL60065_03)

	ATTENTION RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE-NE PAS OUVRIR	
ATTENTION : POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'ÉLECTROCUTION, NE PAS RETIRER LE CAPOT (OU LE DOS). NE CONTIENT PAS DE PIÈCES NÉCESSITANT L'INTERVENTION DE L'UTILISATEUR. POUR TOUTE INTERVENTION, FAIRE APPEL À DES PROFESSIONNELS QUALIFIÉS.		

Explication des symboles



L'éclair avec une flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'une « tension dangereuse » non isolée à l'intérieur de l'appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d'électrocution.



Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions importantes sur l'emploi ou la maintenance (réparation) de l'appareil dans la documentation fournie.

PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

1. Lire ces instructions.
2. Conserver ces instructions.
3. Tenir compte de tous les avertissements.
4. Suivre toutes les instructions.
5. Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
6. Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
7. Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l'appareil conformément aux instructions du fabricant.
8. Ne pas installer l'appareil à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
9. Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l'autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d'une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l'utilisateur. Si la fiche équipant l'appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
10. Acheminer les cordons d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
11. Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
12. Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l'appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
13. Débrancher l'appareil en cas d'orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
14. Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l'appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l'intérieur de l'appareil, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à de l'humidité, si l'appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



AVERTISSEMENT
POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(0503 UL60065_03)

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や本説明に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気付いたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード / プラグが破損した場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
 - 無理に曲げない
 - 傷つけない
 - 電源コードに重いものをのせない
- 感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用

する。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプター / 電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。付属の電源コードは日本国内専用 (125 V まで) です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。必要に応じて、定期的にほこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



禁止

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。

接続



必ず実行

接続する機器のマニュアルを必ず読み、記載されている内容に従う。

従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。

水に注意



- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**

感電のおそれがあります。

火に注意



- 本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

聴覚障害



- **電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量 (ボリューム) を最小にする。**

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



- **オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。**

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



- **大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。**

聴覚障害の原因になります。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源



- **電源アダプターは、布や布団で包んだりしない。**

熱がこもって発熱し、やけどや火災の原因になることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。**

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



- **不安定な場所や振動の多い場所に置かない。**

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



- **本製品を子供の手の届くところに置かない。**

誤って本製品の穴に指を入れてけがをするおそれがあります。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



- **本製品の通風孔 (放熱用スリット) をふさがない。**

内部の温度上昇を防ぐため、本製品には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

通風孔は下記の箇所にあります。

側面、背面



- **放熱のため、本製品を設置する際は、**

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



- **本製品を EIA 標準ラックにマウントする場合は、本説明の「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。**

放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。EIA 標準のラック以外に本製品を入れる場合は、本機の周囲に下記のスペースを確保してください。

本機の周囲に左右 6 cm、背面 12 cm 以上



- **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。**

故障の原因になります。



- **本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。**

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々々が転倒したりするおそれがあります。

お手入れ



- **本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**

感電の原因になることがあります。

取り扱い



- **本製品のすき間に手や指を入れない。**

けがをするおそれがあります。



- **本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。**

本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。

使用上のご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）には直接接続しない。
- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 温度変化が激しい場所に設置しない。
製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。
- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色 / 変質の原因になります。
- 電源アダプターを本製品から十分離して設置する。
電源アダプターと本製品を近づけると、雑音の原因になります。
- バランス出力をアンバランス機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせる。
グラウンド電位が合っていないと、故障の原因になります。アンバランス（不平衡）機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。
- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。ベンジン、シンナー、洗剤、化学そうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色 / 変質する原因になります。
- フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを補給しない。
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなる場合があります。

データの保存に関するご注意

- 時計用のバッテリーの交換はお買い上げの販売店またはヤマハ修理センターにご相談ください。
本製品は時計用のバッテリーを内蔵しており、電源を切った状態でも内蔵時計の時刻情報は保持されます。時計用バッテリーが消耗すると内蔵時計の時刻情報が消えてしまい、本製品に保存するシーンなどの時刻を伴う情報に支障をきたします。時計用バッテリーの寿命の目安は5年ですが、使用環境などにより変動する場合があります。
- 保存した USB メモリーの万一の事故に備えて、大切なデータはコンピューターや予備の USB メモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。
保存した USB メモリーが破損すると、データの損失の原因となります。

お知らせ

データの著作権に関するお知らせ

- ソフトウェアおよび本説明の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。

製品の機能 / データに関するお知らせ

- [⓪](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この状態での消費電力は、最小限の値で設計されています。本製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (DM3のみ) 本製品は Audinate 社提供の Dante モジュールを使用しています。本製品で使用している Dante モジュールは Dante Controller で確認できます。Dante モジュールごとの、使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト (英語) をご覧ください。
<https://www.audinate.com/software-licensing>
- 本製品で使用しているオープンソースライセンスは、本体の ABOUT 画面で確認できます。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- XLR タイプコネクタのピン配列は、以下のとおりです (IEC60268 規格に基づいています)。
1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)

本説明の記載内容に関するお知らせ

- 本説明に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ソフトウェアおよび本説明を使用した結果とその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、iPad、Lightning は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されている商標です。
- iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- 本説明に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

その他のお知らせ

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の背面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(rear_ja_02)



ヤマハエコラベル

ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。

目次

はじめに	8
DM3 シリーズの違いについて.....	8
使用対象者.....	8
使用目的.....	8
付属品.....	8
マニュアルの構成について.....	8
ユーティリティーソフトウェアについて.....	9
ファームウェアのアップデート.....	9
取扱説明書の表記方法について.....	9
各部の名称と機能	10
トップパネル.....	10
リアパネル.....	11
サイドパネル.....	12
ディスプレイの操作方法	13
ディスプレイの操作について.....	13
画面を切り替える.....	13
スクロールする.....	13
EQ の Q を操作する.....	13
[TOUCH AND TURN] ノブによるパラメーターの操作について.....	14
内蔵時計を設定する	14
工場出荷時の設定に戻す（初期化）	15
ラックマウントキット（別売：RK-DM3）の取り付け	15
資料	16
一般仕様.....	16
寸法.....	16
ソースコードの配布について.....	17

はじめに

このたびは、ヤマハ DM3、DM3 STANDARD をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

DM3 シリーズの違いについて

DM3 は、Dante オーディオネットワークを使用できますが、DM3 STANDARD は使用できません。

NOTE

イラストは特にことわりがない場合、DM3 のものを使用しています。

使用対象者

本製品は、ホールやイベントの PA システムでミキシング操作ができる方を対象としています。

使用目的

本製品は、バンドによる生演奏やコーポレートイベント、音楽制作で複数の音源ソースをミキシングするために使用します。

付属品

- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 電源アダプター(PA-L500)
- ・ DOWNLOAD INFORMATION

マニュアルの構成について

DM3 シリーズのマニュアルは、ヤマハプロオーディオのウェブサイトから PDF 形式でダウンロードできます。HTML 形式のマニュアルを閲覧することもできます。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

取扱説明書（本書）

主にパネル上の各部の名称と基本的な操作について説明しています。

DM3 シリーズ リファレンスマニュアル

主に機能の詳細や応用的な操作について説明しています。また、本体の設定や操作をコンピューター上で行うソフトウェア (DM3 Editor) の操作について説明しています。
<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm3/rm/>



DM3 Editor インストールガイド

DM3 Editor のインストール手順について説明しています。
<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm3/ig/>



DM3 StageMix ユーザーガイド

DM3 シリーズをワイヤレスコントロールする iPad アプリケーションについて説明しています。
<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm3/ug/>



HTML マニュアルの活用方法

HTML 形式のマニュアルは、コンピューターやタブレット、スマートデバイスのウェブブラウザでご覧いただけます。情報を俯瞰したり、目的の情報に素早くたどり着ける HTML マニュアルを是非ご活用ください。

ユーティリティーソフトウェアについて

DM3 シリーズには、各種ユーティリティーソフトウェアが用意されています。ソフトウェアの詳細な情報については、ヤマハプロオーディオのウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ダウンロードの方法やインストール、詳しい設定などについては、上記ウェブサイトやダウンロードしたプログラムのインストールガイドをご参照ください。

DM3 Editor

本体の設定や操作をコンピューター上で行うソフトウェアです。本体設定のバックアップや、本体がない場所でのセットアップも行えます。

DM3 StageMix

DM3 シリーズのシステムをワイヤレスコントロールする iPad アプリケーションです。ミキシングエンジニアはステージ上の演奏者のポジションなど、システムから離れたところで直接ミキシングパラメーターを操作できるようになります。

MonitorMix

DM3 シリーズの MIX センドをワイヤレスコントロールするスマートデバイス向けのソフトウェアです。

Yamaha Steinberg USB Driver

DM3 シリーズとコンピューターを接続するためのドライバソフトウェアです。最大 18 イン / 18 アウトのオーディオ信号を、DAW ソフトウェアとやり取りしたり、DAW ソフトウェアをリモートコントロールします。

ファームウェアのアップデート

DM3 シリーズは、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

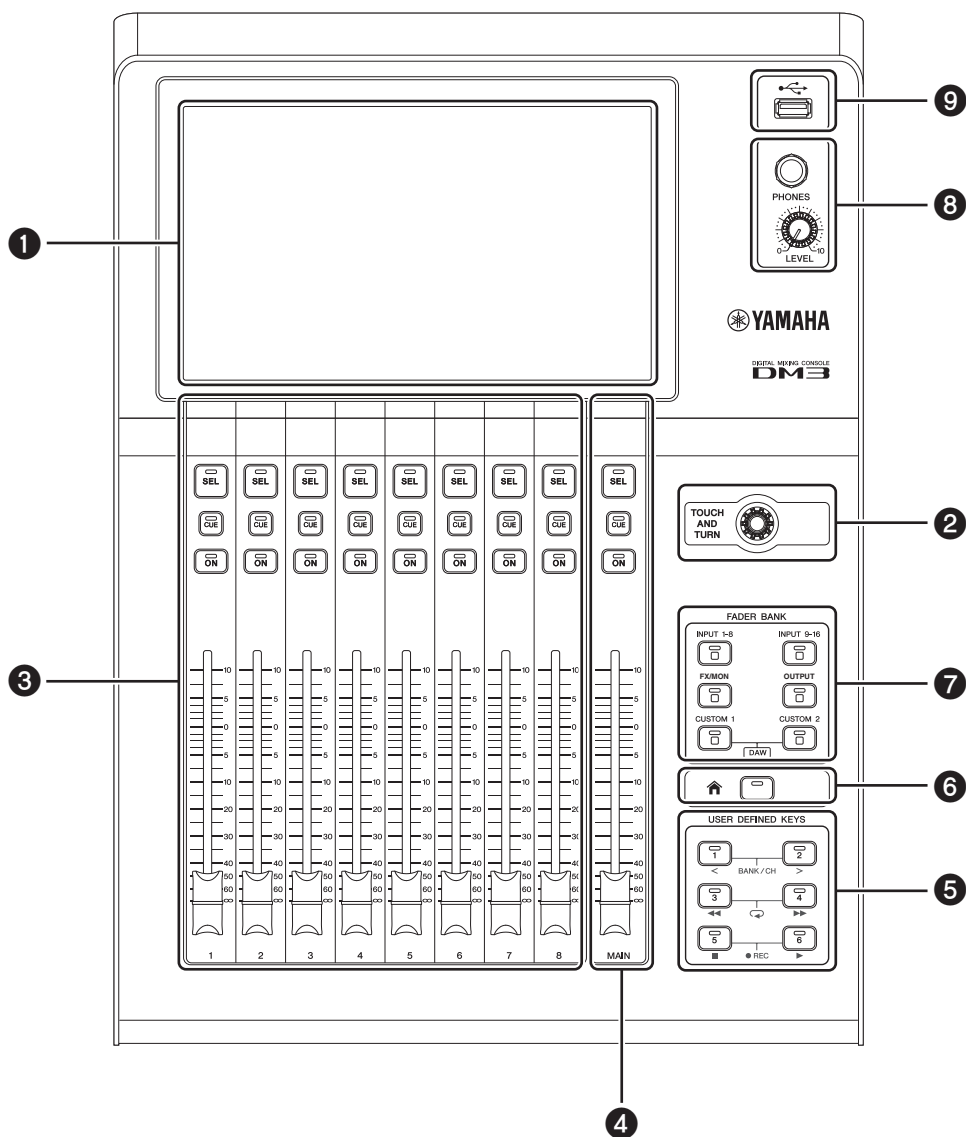
アップデートの手順や本体の設定については、ウェブサイトを用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

取扱説明書の表記方法について

本書では、パネル上にあるスイッチ類を「キー」と呼びます。パネル上の操作子は、画面内に表示される仮想のボタンやノブ類と区別するために、名称を [] でくくって表記します (例: [CUE] キー)。操作子によっては、[] の前にセクション名などを表記する場合があります (例: USER DEFINED KEYS [1] キー)。

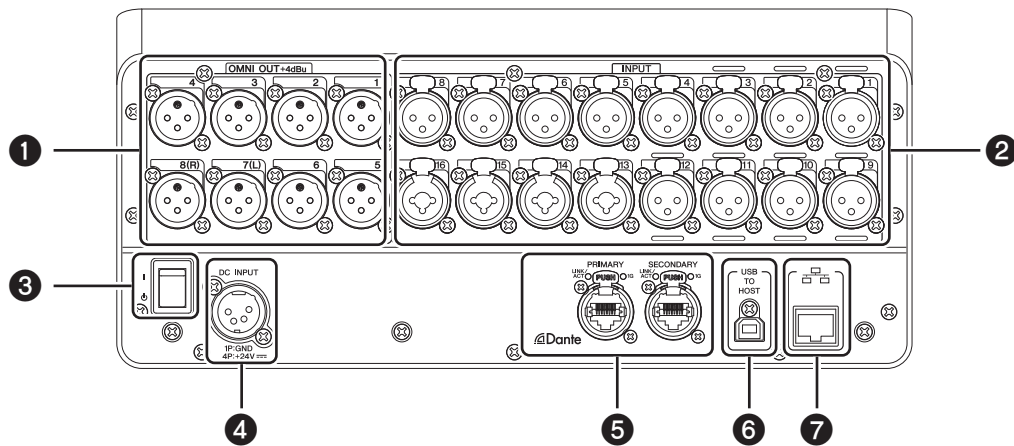
各部の名称と機能

トップパネル



- 1 ディスプレイ**
ディスプレイの表示を直接タッチして操作します。
- 2 [TOUCH AND TURN] (タッチアンドターン) ノブ**
選択されたパラメーターを調整するときに使用します。
- 3 チャンネルストリップセクション**
従来のアナログミキサーのチャンネルモジュールに相当する部分です。現在選ばれているチャンネルの主要なパラメーターを操作します。
- 4 [MAIN] (メイン) セクション**
主に STEREO チャンネルのパラメーターを操作するセクションです。
- 5 [USER DEFINED KEYS] (ユーザーディファインドキー) セクション**
必要に応じて任意に割り当てた機能进行操作するキーです。タップテンポやブックマークなど、いくつかのよく使用する機能は初期設定で割り当てられています。
- 6 [HOME] キー**
HOME 画面に戻ります。
- 7 [FADER BANK] (フェーダーバンク) セクション**
パネル上のフェーダー割り当てを切り替えます。
- 8 [PHONES] (ヘッドホン) セクション**
MONITOR セレクトで選択された信号、または CUE 信号をヘッドホンでモニターします。
- 9 USB 端子**
USB メモリーを接続するための端子です。

リアパネル



① [OMNI OUT] 端子

アナログ音声信号を出力する XLR-3-32 タイプの出力端子です。主に MIX チャンネルと STEREO チャンネルの信号を出力するのに使用します。

② [INPUT] 端子

マイクや楽器を接続します。
1～12: XLR-3-31 タイプの入力端子です。
13～16: XLR タイプ、TRS フォーンタイプの両プラグに対応したコンボ端子です。

③ 電源スイッチ

スイッチが (|) の場合、電源がオンになります。
スイッチが (⊕) の場合、電源がスタンバイになります。

ご注意

- 電源スイッチは、最後の操作後 10 秒以上経過してからスタンバイにしてください。本製品は、スタンバイ直前の状態を保存し、電源オンの時に再現します。
- 電源スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、6 秒以上の間隔を空けてください。連続して電源スイッチのオン/オフをすると、誤動作の原因になることがあります。

④ [DC INPUT] 端子

付属の電源アダプターを接続します。まず本製品と電源アダプターを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



警告

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。付属の電源コードは日本国内専用 (125 V まで) です。



注意

- 電源コードを接続したり、取り外す前に必ず電源スイッチをスタンバイにしてください。
- 電源を切った状態 (電源がスタンバイの状態) でも微電流が流れています。本製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⑤ Dante PRIMARY/SECONDARY 端子 (DM3 のみ)

Tio1608-D などの I/O デバイスをはじめ、Dante オーディオネットワークと接続するための端子です。コネクタは Neutrik 社製 etherCON CAT5e と適合する RJ-45 コネクタをお使いください。

ご注意

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル (シールド付きツイストペアケーブル) をお使いください。STP ケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。

NOTE

Dante ネットワーク内では、ネットワークスイッチの EEE 機能 (*) を使用しないでください。EEE 機能に対応したスイッチ間では、消費電力の相互設定が自動で調整されますが、相互設定の調整が正しく機能しないスイッチもあります。これにより、Dante ネットワーク内の不適切な場面でスイッチの EEE 機能が有効になってしまう可能性があります。また、クロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。

そのため、以下の点にご注意ください。

- マネージドスイッチを使用する場合、Dante を使用するすべてのポートの EEE 機能をオフにしてください。EEE 機能がオフにできないスイッチは使用しないでください。
- アンマネージドスイッチを使用する場合、EEE 機能に対応したスイッチを使用しないでください。これらのスイッチは EEE 機能をオフにできません。

*EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能 : ネットワークのトラフィックが少ないときにイーサネット機器の消費電力を減らす技術。グリーンイーサネットや IEEE802.3az とも呼ばれる。

⑥ [USB TO HOST] 端子

USB タイプ B の端子です。

USB ケーブルでコンピューターと接続することで、最大 18 イン /18 アウト、96 kHz/32 ビットのオーディオインターフェースとして機能します。また、USB-MIDI による DM3 シリーズのコントロールと、DAW ソフトウェアのリモートコントロールができます。

コンピューターとの通信には Yamaha Steinberg USB Driver のインストールが必要です。

ご注意

- USB ケーブルは、3 m 未満のものをご使用ください。
- USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

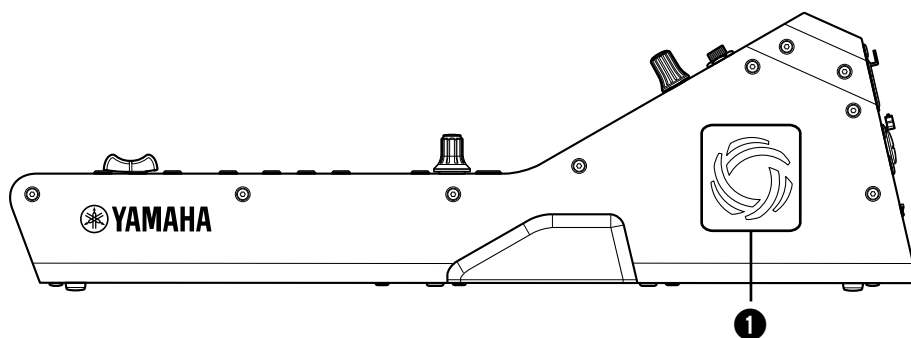
⑦ ネットワーク端子

イーサネットケーブル (CAT5e 以上を推奨) を使用して、コンピューターと接続する RJ-45 端子です。

ご注意

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル (シールド付きツイストペアケーブル) をお使いください。

サイドパネル



① 通風孔

内部の温度上昇を防ぐために冷却用ファンが装備されています。本体内部の温度が高くなると、ファンが自動で回転します。

通風孔は、左右両方にあります。



注意

本製品の通風孔 (放熱用スリット) をふさがないでください。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

ディスプレイの操作方法


ディスプレイの操作について

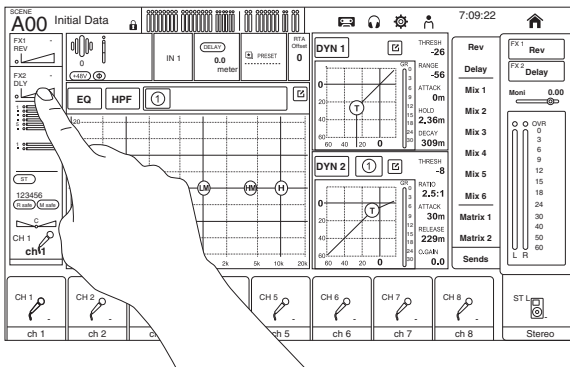
ディスプレイの表示を直接タッチして操作します。パラメーターを微調整するときは、[TOUCH AND TURN] ノブも使用できます。

タッチ / ダブルタッチのほか、スライド、スワイプ、ピンチイン / ピンチアウトといった操作ができます。


画面を切り替える

画面上のボックスをタッチすると専用の画面に切り替わります。

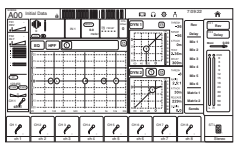
[HOME] キー  を押すと、HOME 画面に戻ります。



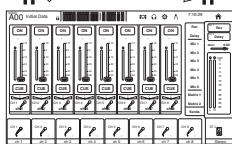
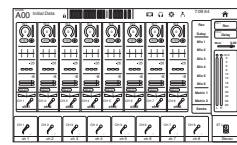
NOTE

SETUP 画面 → PREFERENCE 画面にある、Key Function → [HOME] key で HOME 画面に表示する内容を選択できます。複数の項目を選択した場合は、[HOME] キー  を押すたびに表示が切り替わります。

SELECTED CHANNEL セクション



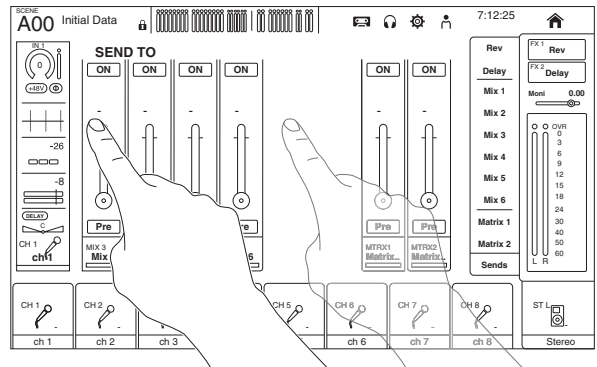
CH STRIP セクション



FADER セクション

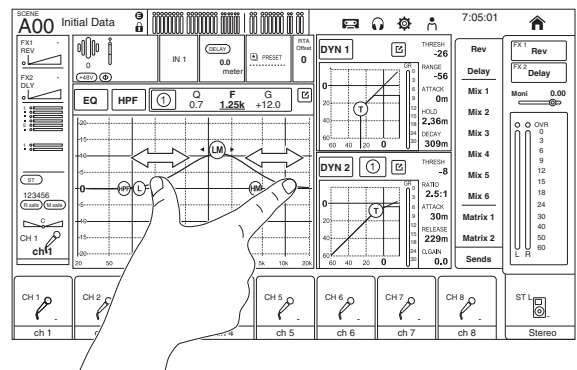
スクロールする

スクロールバーが出ている画面などでは、画面を上下または左右にスライドすると、続きの画面が表示されます。スワイプすると、素早くスクロールできます。



EQ の Q を操作する

EQ 画面で、マニュアルモードのときはハンドルを選択してピンチイン / ピンチアウトすると、選択されたハンドルの Q 操作ができます。

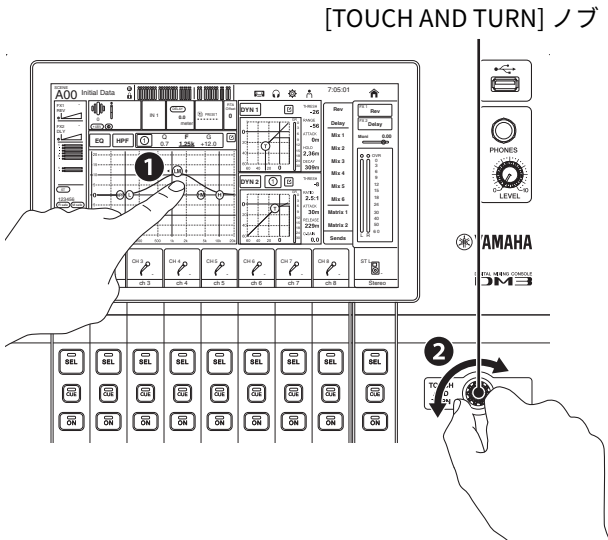


NOTE

複数のパラメーターをひとつのノブで操作する 1-knob モードのときはこの操作ができません。画面上部にあるモード切り替えボタンでマニュアルモードを選択してください。

[TOUCH AND TURN] ノブによるパラメーターの操作について

次の図のように、操作するパラメーターをタッチして選択(①)したあと、[TOUCH AND TURN] ノブを操作(②)します。選択されているパラメーターにはピンク色の枠が表示されます。



NOTE

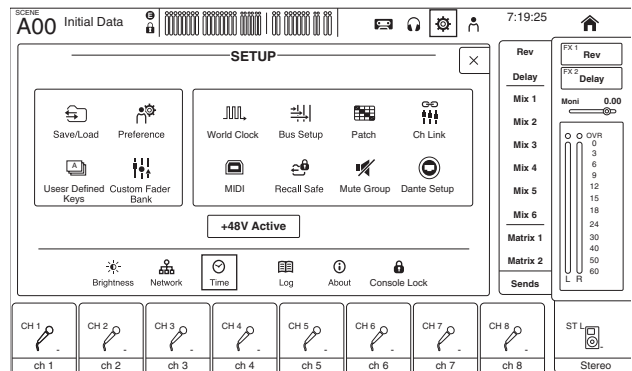
1-knob モードについて

EQ とコンプレッサーについては、複数のパラメーターを [TOUCH AND TURN] ノブで簡単に操作できる「1-knob モード」が用意されています。1-knob モードが有効な場合は、各パラメーターを個別に操作できません。1-knob モードのオン / オフは EQ、コンプレッサーの各画面で切り替えできます。

内蔵時計を設定する

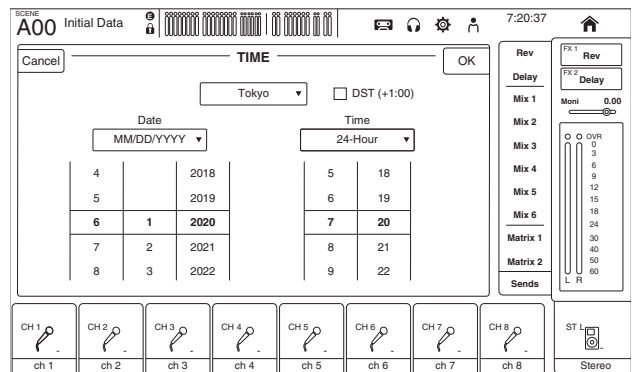
DM シリーズに内蔵されている時計の日時設定、および日付 / 時刻の表示方法の選択を行います。ここで設定した日付と時刻は、シーン保存時のタイムスタンプに影響します。

1 SETUP ボタン をタッチします。



2 TIME ボタンをタッチします。

日付時刻を設定する画面が表示されます。



3 日付または時刻を上下にスライドし、日時を設定します。

4 設定が終わったら OK ボタンをタッチします。

5 [HOME] キー を押します。

HOME 画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す (初期化)

次の操作で、工場出荷時の状態に戻すことができます。

NOTE

工場出荷時の状態に戻すと、本体に保存した内容がすべて消えてしまうので、慎重に判断してください。

1 [HOME] キー  を押した状態で、電源を入れます。

2 メンテナンス画面が表示されたら、Initialize All Memories ボタンを押します。

工場出荷時の設定に戻ります。

ラックマウントキット (別売:RK-DM3)の取り付け



注意

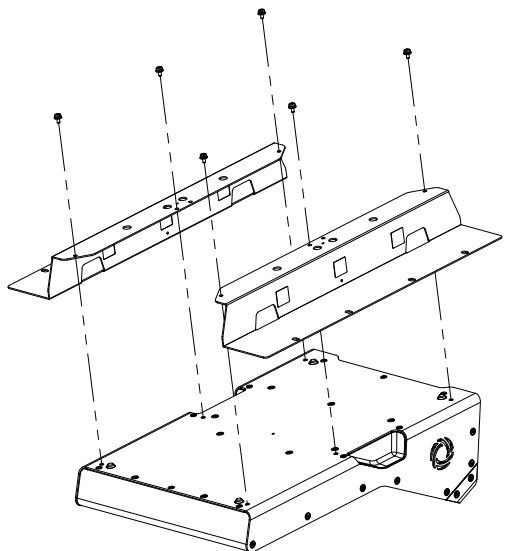
ラックマウント時の注意

本製品が動作保証する室温は 0 ~ 40°C です。他の機器と一緒に EIA 標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。本製品に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- ・ パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を 1U 以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。

1 ラックマウント金具を取り付けます。

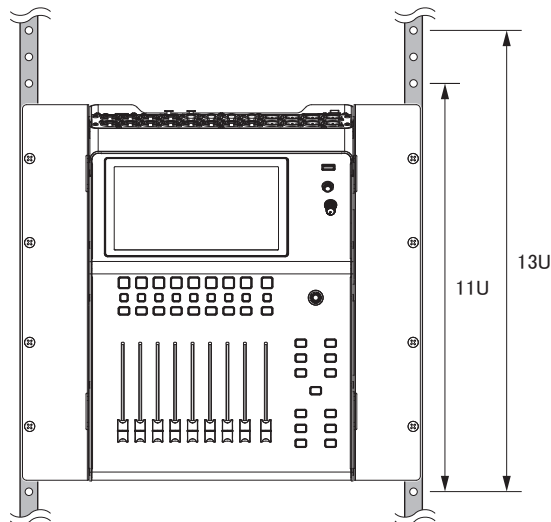
ラックマウントキットに付属のネジ(計6本)で、ラックマウント金具を本体に固定します。ラックマウント金具の形状は左右ともに同じです。ラックマウント金具にガタつきがないか確認してください。



2 ラックへ取り付けます。

本製品をラックにマウントする場合は、最低 11U* のスペースが必要です。ケーブルを接続するために、13U* 以上のスペースを確保することをお勧めします。

*11U は約 489 mm、13U は約 578 mm です。



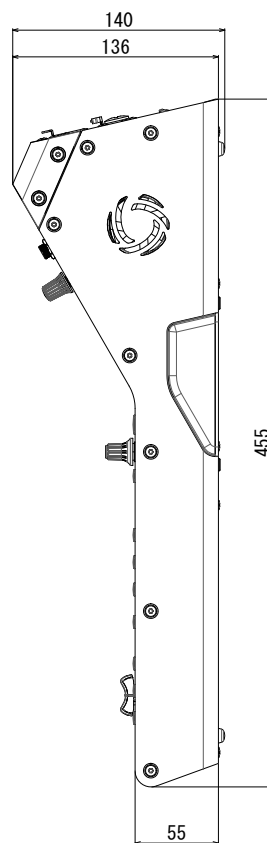
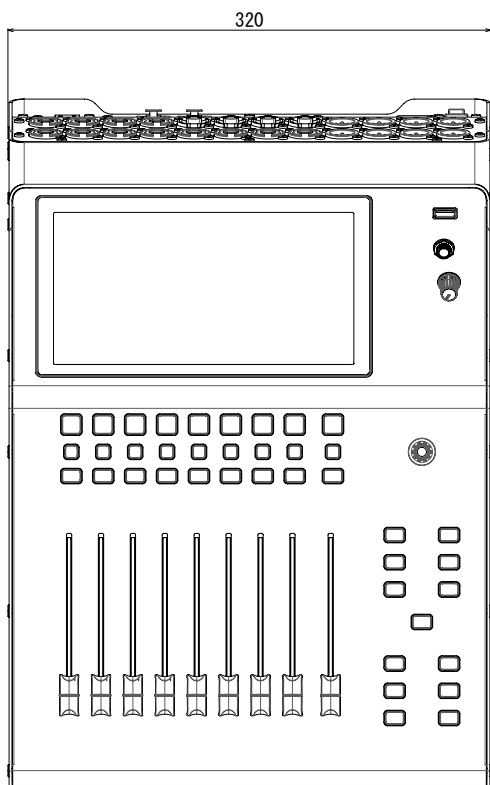
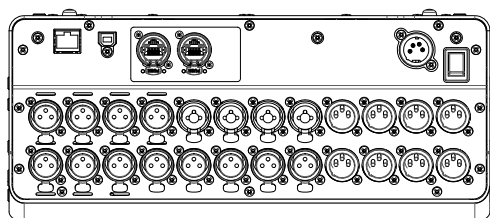
資料

一般仕様

寸法(W x H x D)、質量	320 mm × 140 mm × 455 mm、6.5 kg
消費電力	43 W
電源電圧	DC24 V/2.5 A、PA-L500 (100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz)
温度範囲	動作温度範囲:0 ~ 40°C 保管温度範囲:-20 ~ 60°C
サンプリング周波数	96 kHz/48 kHz
付属品	取扱説明書、電源アダプター (PA-L500、電源コード含む)、DOWNLOAD INFORMATION

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

寸法



単位:mm

ソースコードの配布について

本製品の最終出荷日から3年間は、製品のソースコードのうち GNU General Public License/GNU Lesser General Public License/RealNetworks Public Source License に基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布できません。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ(株)音響事業本部 プロオーディオ事業部 マーケティング&セールス部

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただきます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

- ・弊社(または弊社認定の関係者)以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除によって発生し得る損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- ・弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
ナビダイヤル® **0570-050-808**
※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**
受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を
除く)
オンラインサポート
<https://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター
ナビダイヤル® **0570-012-808**
※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**
FAX 03-5762-2125 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口
東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT 京浜 E 棟 A-5F
FAX 03-5762-2125
西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル 7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号
KDX 箱崎ビル

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などの変更になる場合があります。

持込修理

保証書

品名	デジタルミキシングコンソール	
※品番		
※シリアル番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1年間
※お買上げ日	年 月 日	
お客様	□□□□-□□□□	
	ご住所	
	お名前	
	電話 () 様	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話 ()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
 - ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

© 2021 Yamaha Corporation
2023年2月発行
NVEM-B1

